



不昧公 Fumai kou 二〇〇年祭

デザイナー：中尾 実里
(神奈川県茅ヶ崎市)

マークは、茶筅が茶碗のなかで円を描いている動作をイメージして作成しました。さらに色使いでお茶を表現しています。マークはシンボリックになっているのでデザインのアクセントになると思います。ロゴはシンプルに読みやすく、マークに合わせて繊細な感じになるように作成しました。

不昧公200年祭のロゴマークは一般公募により決定。公募自体が告知となり効率的な広告になることを狙い2017年に実施。

不昧公200年祭記念事業

ロゴマーク募集開催

二〇〇年分の
おもてなしを
マークにしてください。

2017年4月24日→6月23日

応募方法

結果発表

不昧公200年祭
記念事業

ロゴマーク結果発表

不昧公200年祭

200年祭

200年祭

200年祭

200年祭

200年祭

ロゴマーク募集告知と結果発表(2017年に制作されたものです。)



不昧公
Fumai kou
二〇〇年祭

松江
MATSUE



The poster features a large white cloud shape containing a green circular logo with a repeating petal or lattice pattern. Below the logo, the text "不昧公" (Fukinuki-no-kun) and "二〇〇年祭" (200th Anniversary) are written in a stylized font. The background is light gray. In the bottom right corner, there is a portrait of an elderly man with a shaved head, wearing a traditional dark kimono and holding a sword (tachi). To the left of the monk, a dark green speech bubble-like shape contains the text "EVENT GUIDE" and "4月8日～12日". On the far left edge of this green shape, there is some smaller, partially obscured text. The overall design is minimalist and elegant.

This image shows a double-page spread from a Japanese magazine. The left page features a night scene with numerous hanging lanterns, a portrait of Matsudaira Naomasa (松平治郷), and several smaller images of historical artifacts. The right page is a green-themed section titled '不昧公200年祭' (200th Anniversary of Matsudaira Naomasa) for the year 2018. It includes a portrait of Naomasa, three photographs of historical buildings, and a large illustration of a sword hilt (tachi) surrounded by documents and coins.

お茶とわたしの
縁結び。

自分にご褒美♡
お茶にお菓子に
心おどる旅。

二〇〇年分の
おもてなし。

歴史に触れ
松江の茶文化を
深く知る旅。





This image is a collage of several travel guidebook pages from Japan, showcasing various aspects of Japanese culture and tourism. The pages include sections on traditional dress (yukata), local specialties (such as 'お茶にお風呂に心おどる旅' featuring matcha and bath salts), historical sites (like Matsue Castle), and natural beauty (like cherry blossoms). Each page contains text in Japanese, accompanied by numerous photographs of people, landscapes, and cultural artifacts.



An open magazine spread. The left page features two small images: one of a traditional building and another of a person in a kimono. The right page shows a person in a kimono holding a green tea cup. The text on the right page reads "松江の茶文化と不味公。" (Matsue's tea culture and Matsue-no-kami).

A poster for Matsue City featuring a blacksmith working with a large fire. The background is green. The text on the right side reads "今も継承される「不味公御好み」" (The taste preferences of Matsue-no-kami, which are still being passed down today). Below the main image are several smaller images of food items.

The collage includes:

- A large gold-colored bowl (Kinkaku-ji) with descriptive text.
- A night view of Himeji Castle (Himeji Castle).
- A woman in traditional kimono preparing food (Tea ceremony or cooking demonstration).
- A portrait of a man in a green robe (Zen master).
- A garden scene with a pond and red leaves (Autumn foliage).
- A garden scene with a pond and red leaves (Autumn foliage).
- A night view of a bridge (Kintai Bridge).
- A night view of a bridge (Kintai Bridge).

This image shows a page from a Japanese travel guide for Matsue City. The central feature is a map of Matsue City with pink highlights indicating key areas or landmarks. Surrounding the map are several photographs of local cuisine, including a yellow cake, a dessert with a red umbrella, a bowl of ramen, a green smoothie, and a plate of skewered food. Each photo is accompanied by a small caption in Japanese.

くつろぎ SPOT

縁結びと

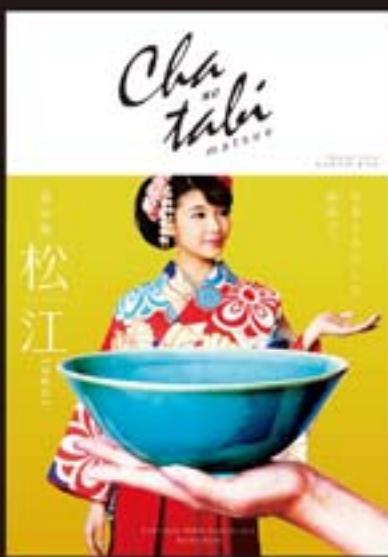
Matsue Insta Spot

まつえの和菓子

不老園

和菓子

不老園

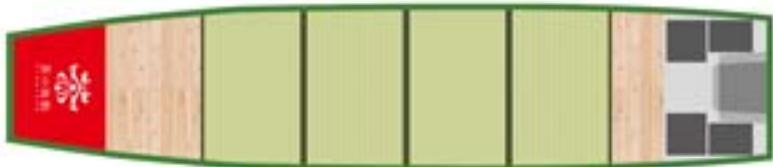
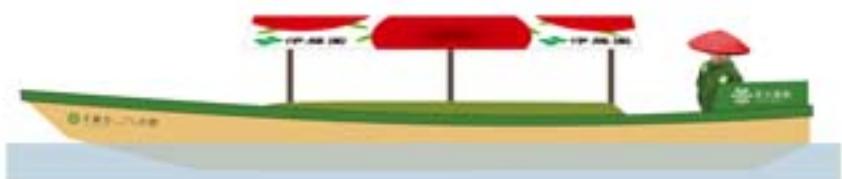
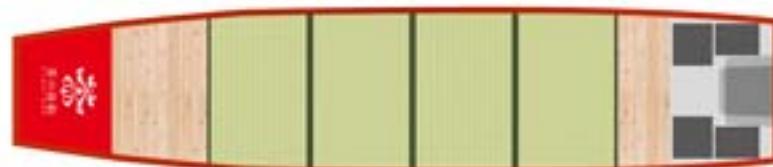
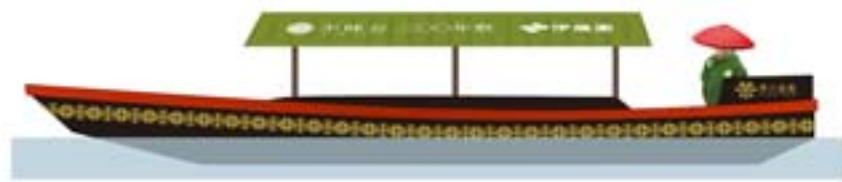




茶の湯船

茶の湯堀川遊覧船







松江への旅はJRで。

山陰・松江へは山陽新幹線「阿波」乗り換え
特急やくものご利用が便利です。



二〇〇年分の
おもてなし。

茶の旅

松江

MATSUE

【島根県】



不昧公
二〇〇年祭

200th Anniversary



お茶とわたしの
縁結び。

茶の旅



松江
[島根県]

【島根県】

しまね
しまね
しまね

不^死公
二〇〇年祭



お茶とわたしの
縁結び。

茶の旅

松江

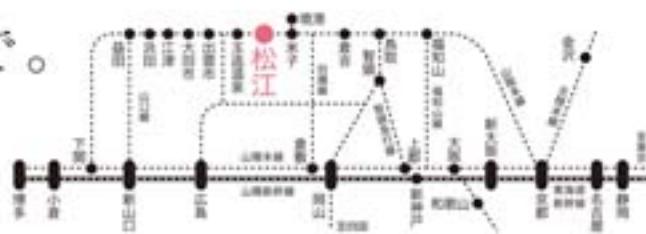
【島根県】



松江への旅はJRで。

山陰·松江八社

山陽新幹線「岡山」乗り換え
特急やくものご利用が便利です



JR
JR西日本



草先の創作料理完成

不昧さん召し上がり
「懐石寿考12人前御用意」
誕生日ちなみ
茶の湯遊観船、創作料理、茶道販売…

2014年4月1日開幕

松江の街不昧一色に

島大生が和菓子デザイン
「厳しさと柔らかさと」

不昧の著書基に専門家
松江でシンポ

松江の春夏 薫る不昧菓

和菓子7社創作



西県一大イベント 高まる機運
内閣総理大臣の訪問も決まり、松江市は今、大きな動きを見せる。市は、来月開幕する「不昧公200年祭」を機に、観光振興や地域活性化に力を入れている。

松江の街不昧一色に

島大生が和菓子デザイン
「厳しさと柔らかさと」

不昧の著書基に専門家
松江でシンポ

島大生が和菓子デザイン

「厳しさと柔らかさと」

不昧の著書基に専門家
松江でシンポ

「厳しさと柔らかさと」

不昧の著書基に専門家
松江でシンポ

松江の茶文化 多彩に発信

不昧公200年祭開幕
地元作家ら力作並ぶ

松平家家紋の皿 木彫りの不昧像

工芸品や和菓子
即売会にぎわう

松江の茶文化 多彩に発信

不昧公200年祭開幕
地元作家ら力作並ぶ

松平家家紋の皿 木彫りの不昧像

工芸品や和菓子
即売会にぎわう

料理研究家 半澤さん振る舞う

春茶会の一環 奉書焼など8品
不味茶会献立基に懐石

2019年5月20日付

「不味葉」の人気上々
首都圏P良イベント盛況

松江城の魅力 笑い交え

2019年5月20日付

野だて傘やひょうたんモチーフ

里子外茶席まるでアート
松江の気軽に茶の湯を

2019年5月21日付

不味葉 気軽に楽しんで
手作り抹茶体験

不味テーマに研究者報告
松江で初のシンポ

2019年5月21日付

不味に食べてほしい縁高弁当
郷土料理研 市長に披露

古文書参考にメニュー考案

2019年5月24日付

大名茶人の美意識に触れる

不味に想いはせ一眼満喫
歴史館で茶会

2019年5月25日付

中国地方の絆 SMA
松江で茶道交流会

高校生 心込めてお点前

2019年5月27日付

不味の藩政改革功績紹介
財政課など資料7点

2019年5月29日付



迷いの時代 生かしたい足跡と精神

平成不昧伝



平成不昧伝 治國の基 強さとしなやかさと



平成不昧伝

穂小空間 明暗も静けさも愛す



平成不昧伝

懐石料理 日本の食文化に影響



平成不昧伝

茶わん 作陶支える松江の土壤



平成不昧伝

煎茶 日本茶の中心的存在に

生け花 根底に茶道と同じ「美学」

平成不昧伝

【解説】
「生け花」は、お正月の飾りや、お盆の供花など、古くからある日本の文化。しかし、その根柢には、茶道と同じ「美学」がある。それは、茶道の「和」「清」「寂」「空」の精神だ。

【解説】
「生け花」は、お正月の飾りや、お盆の供花など、古くからある日本の文化。しかし、その根柢には、茶道と同じ「美学」がある。それは、茶道の「和」「清」「寂」「空」の精神だ。

時代とともに変わる評価

平成不昧伝

【解説】
時代とともに、評価が変わるのは、不昧公の「茶道」だけではない。その他の文化や技術も、時代とともに進化している。たとえば、現代の茶道では、新しい道具や手法が開拓され、新たな表現が生まれている。

【解説】
時代とともに、評価が変わるのは、不昧公の「茶道」だけではない。その他の文化や技術も、時代とともに進化している。たとえば、現代の茶道では、新しい道具や手法が開拓され、新たな表現が生まれている。

名勝紹 存命中から高評価の鷹山

平成不昧伝

【解説】
「存命中から高評価の鷹山」は、鷹山の美しさを高く評価する言葉だ。鷹山は、その雄大な自然や歴史的背景から、古くから多くの人に愛される名所となってきた。

【解説】
「存命中から高評価の鷹山」は、鷹山の美しさを高く評価する言葉だ。鷹山は、その雄大な自然や歴史的背景から、古くから多くの人に愛される名所となってきた。

平成不昧伝
— 茶道家 虚像の名君？謎多く

【解説】
「茶道家 虚像の名君？謎多く」は、不昧公の「虚像」に対する評価だ。彼の「虚像」は、茶道の精神をより深く理解するための重要な概念だ。

【解説】
「茶道家 虚像の名君？謎多く」は、不昧公の「虚像」に対する評価だ。彼の「虚像」は、茶道の精神をより深く理解するための重要な概念だ。

平成不昧伝
— 菅田庵 松江茶道の象徴復活

【解説】
「菅田庵 松江茶道の象徴復活」は、松江茶道の象徴的な場所である菅田庵の復活を祝う言葉だ。菅田庵は、茶道の発展に大きな影響を与えた重要な場所だ。

【解説】
「菅田庵 松江茶道の象徴復活」は、松江茶道の象徴的な場所である菅田庵の復活を祝う言葉だ。菅田庵は、茶道の発展に大きな影響を与えた重要な場所だ。

平成不昧伝
— 幸福 今に息づく泰平の時代

【解説】
「幸運 今に息づく泰平の時代」は、泰平の時代における幸福な時代を表現する言葉だ。泰平の時代は、茶道の黄金時代ともいわれる時代だ。

【解説】
「幸運 今に息づく泰平の時代」は、泰平の時代における幸福な時代を表現する言葉だ。泰平の時代は、茶道の黄金時代ともいわれる時代だ。

